



発行 徳島市かちどき橋1丁目41番地 TEL 088-622-8158 FAX 088-626-5411
 URL : <http://www.toku-forest.com/> E-mail : info@toku-forest.com



海部郡海陽町

Contents

新年のご挨拶（県森連・代表理事会長）	2
平成27年年頭ご挨拶（全森連・代表理事会長）	3
山と木と緑のフェア2014	4
「緑の雇用」現場技能者育成対策事業／FW集合研修	4
平成26年度第1回森林組合役職員（監事）研修会の開催	5
徳島県知事副知事へ表敬訪問	6
全国森林組合代表者大会表彰者（功労者表彰）	6
平成26年度林業用種苗規格一覧	7



新年のご挨拶

徳島県森林組合連合会
代表理事長 杉本直樹



新春を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、お健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃より本会運営につきまして、格段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

わが国の経済は、金融、財政、成長戦略のいわゆる「三本の矢」による「脱デフレ」への一体的な取り組みにより、消費などの内需を中心に活発な動きが見られ、企業収益の増加から所得環境の改善にも光が差し、有効求人倍率は22年ぶりの高水準となるなど景気回復への確かな道筋が見え始めました。

一方、実質GDP成長率が2四半期連続でマイナス成長になるなど、まだまだ脆弱な部分もあり、今後の政府の対応に期待するところであります。

われわれ林業界においては、消費増税駆け込み需要後の一服感はあるものの、震災復興、東京オリンピックでの需要拡大、さらには、「固定買取価格制度」による木質バイオマス発電への未利用木材の供給など木材の安定した需給に注目が集まっております。

本県では、A級材の需要を確かなものとし「次世代林業プロジェクト」を加速する「ナイスグループ・ウッドファースト製材工場」の稼働が始まり、A、B、C級材全ての安定供給先が確保され、さらなる増産対策と安定供給体制の構築が急務となっております。

このため、本会では、増産に対する要請に応え、これまでの搬出間伐に加え皆伐を積極的に推進し、適切な更新を進める循環施業システムの構築や皆伐に対応した先進林業機械の導入を図るとともに、A、B、C級材の効果的な採材や選別方法の確立などを進め、経営基盤の強化や組合員への収益還元を増加に取り組む所存であります。

また、平成23年度よりスタートしました森林組合系統運動「3rdステージ 国産材の利用拡大と森林・林業再生運動」については徳島県のプロジェクトと整合性を持って組織体制の強化と事業展開に努めるとともに、森林組合広域合併につきましては、現在、第6次基本計画として、平成28年度末5組合体制が計画されておりますが、広域合併を推進することにより、森林組合の資本を集結し、経営基盤の拡充と組織体制の強化に取り組み、効率的な事業展開を図っていくことが、今後、森林組合が生き残っていく上で、非常に有効な手段であると考えております。

本会といたしましても、引き続き国・県・市町村・関係機関等のご指導とご支援を賜りながら、連合会の果たすべき機能と役割を十分発揮し、森林組合の発展に資することができるよう、組織・事業改革に取り組んで参る所存であります。

最後になりましたが、森林組合系統の益々の発展と、組合員の皆様方のご健勝を心から祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。



平成27年 年頭ご挨拶

全国森林組合連合会
代表理事会長 佐藤 重芳



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は、森林組合系統への特段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、広島市の集中豪雨による大規模土砂災害など各地で災害が発生しており、被災地の皆様方に心からお見舞い申し上げます。

さて、地球温暖化防止や国土保全等多面的な機能を有する森林に対する国民の期待はますます高まっていますが、森林を支える林業の構造的な厳しさは一段と増し、山村社会はまさに危機的状況にあり、持続可能な林業経営が可能な立木価格の実現が喫緊の課題となっています。

このような中、本会は、昨年10月に開催された全国木材産業振興大会において、全国木材組合連合会との間で「木材需要の拡大なくして日本林業の活性化は成しえない」という共通認識のもと、全木連と全森連が従来の枠組みを超えて連携し、木材を優先的に活用していく社会の実現を目指す「ウッドファースト社会」の実現に向けた行動宣言を行いました。さらに11月のJForest全国森林組合代表者大会において全木連との再確認を行いました。この宣言を中央での掛け声に終わらせるつもりは毛頭なく、現在、具体的な連携行動の第一歩として県木連と県森連が連携し、各県での木材利用促進条例の制定に向けた取組を進めています。また、同大会では、「ウッドファースト社会」の実現に向け、持続可能な森林管理や国産材利用拡大へ向け国民的理解の醸成を図るとともに、国民的財産である森林の整備や地方創生の柱となる林業の再生に必要な国・地方予算の確保を決議し、政府・与党に強力に要請したところです。

「ウッドファースト社会」を実現するとともに、森林の二酸化炭素吸収機能の継続発揮や、木質バイオマス発電など増大する木材需要へ対応するためには、齢級構成の均衡のとれた人工林の造成が不可欠です。しかしながら、人工林の齢級構成は、林業経営の厳しい実情から森林所有者の山離れが進んでいることもあり、若齢林が著しく少ない歪な状態となっており、間伐と併せて計画的な主伐・再造林を進め齢級構成の平準化を図らなければなりません。このためには、境界の明確化や担い手の確保、苗木の安定供給、獣害対策など解決しなければならない課題が山積していることも事実ですが、将来に大きな禍根を残すことのないよう、今から手を打たなければならないと考えています。

また、平成23年度にスタートした「国産材の利用拡大と森林・林業再生運動」が最終年度を迎えます。本運動では、施業集約化や国産材の安定供給について一定の成果を挙げているところですが、改革の手を緩めることなく次期運動方針の策定を進めてまいります。

決して忘れてはならないのは、東日本大震災と東電福島原発事故です。3月11日にはあの惨禍から4年目を迎えますが、震災、原発事故を決して過去のものとして風化させてはならないとの思いは変わりません。系統として引き続き復興に向けた取組を進めてまいります。

結びに、本年が皆様方にとり実り多き一年となりますよう祈念申し上げますとともに、森林組合系統の飛躍の年となりますよう皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

山と木と緑のフェア2014

第27回徳島WOODわくわく祭



今年も「森林・木材利用促進月間」の一環として、県内の森林・林業、木材産業の関係者が連携し、10月18～19日の2日間にわたり「山と木と緑のフェア・徳島WOODわくわく祭」（主催=山と木と緑のフェア実行委員会）が開催されました。

27回目となる今年のテーマは「ゲン木！徳島」として、山の特産品や木製品の展示即売、山と木と緑の情報満載の各展示コーナー、親子木工教室、高校生によるテナント出展、ラヴ・ウッディオークションなど盛りだくさんなイベントが開催され、本会も木製品等の販売ブースを出展したほか、徳島県樹木医会のメンバーによる無料緑化相談所も設置されました。

また、昨年度に引き続き農林中央金庫高松支店から、ミニ・ウッドハウスを2基提供していただき、抽選により当選した県内2ヶ所の保育園へ梶原次長から目録が手渡されました。



■森づくりコンクール 本会会長表彰式



■農林中金からのプレゼント当選者

「緑の雇用」現場技能者育成対策事業

—フォレストワーカー集合研修—

平成23年度にスタートした「緑の雇用」現場技能者育成対策事業も4年目を迎え、当県でも6月より今年度のフォレストワーカー集合研修を開始しました。

今年度の研修生数は、FW1年目が12名、FW2年目が10名、FW3年目が23名の計45名で、昨年度の38名と比べ7名増となっており、6月から2月までの間、全国で統一されたカリキュラムに沿って研修を進めているところです。

また、この集合研修では当連合会が実施する研修（講義・実習・試験等）のほか、林業に必要な資格取得をはじめとした安全講習等もカリキュラムに定められており、職場で行われるOJT研修（最大180日）と併せ段階的かつ体系的に人材育成することを目的としています。

なお、各年次の集合研修時間については、1年目が207時間（35日程度）、2年目が149時間（25日程度）、3年目が99時間（17日程度）となっており、大変充実した研修内容となっています。



研修風景

平成26年度第1回 森林組合役職員(監事)研修会の開催

開催日：平成26年12月15日（月）

会場：徳島県水産会館

平成26年12月15日に徳島県水産会館において、森林組合役職員の外、県担当職員も含め50名の参加を得、「平成26年度第1回森林組合役職員（監事）研修会」を開催しました。

今回の研修会は、午前中「コンプライアンス態勢の構築」について、農林中央金庫高松支店の梶原次長から、コンプライアンスと役員の責任を中心に、DVDも使い非常にわかりやすく興味深い研修を実施していただいた後、全国森林組合連合会から配布されたDVD「未来への虹」により人権研修を行いました。



また、午後からは全国森林組合連合会監査部より荒井課長をお招きし、森林組合監事研修を実施していただき、参加者から熱心な質問も出るなど大変有意義な研修となりました。

〈研修内容〉

- 「コンプライアンス態勢の構築について」（10：35～11：40）

農林中央金庫 高松支店

四国農林水産環境事業部 次長 梶原 直樹 氏

- 人権啓発研修（11：40～12：10）

「未来への虹」－ぼくのおじさんはハンセン病－ DVD上映

- 「森林組合監事監査について」（13：00～16：00）

全国森林組合連合会

監査部 監査・指導課長 荒井 孝 氏



農林中央金庫 梶原次長



全国森林組合連合会 荒井課長

徳島県知事・副知事へ表敬訪問

平成27年1月5日(月)、徳島県森林組合連合会役員が一堂に会し、飯泉嘉門徳島県知事を表敬訪問いたしました。

冒頭、杉本会長より、次世代林業プロジェクトの推進等、林業施策への積極的な取り組みに対して感謝の言葉が述べられました。また、次世代林業プロジェクトの川中対策として、ナイスグループ・ウッドファースト製材工場が本格稼働し、県産材需要並びに川上への増産要請が高まっているなか、森林組合系統として、県産材の生産倍増に向け、一丸となり取り組んでいく旨の決意表明を行いました。

その後、徳島県林業の今後の展望などについて意見交換がなされ、引き続きご協力いただけるとの心強いお言葉をいただきました。

また、知事訪問後、当連合会の元代表理事専務でもあります熊谷幸三副知事を表敬訪問し、知事同様、心強いお言葉をいただきました。



飯泉徳島県知事



熊谷徳島県副知事

平成26年度 全国森林組合代表者大会表彰者(功労者表彰)

【職員の部】

(敬称略)

氏名	所属
谷 脇 克利	海部森林組合
武 岡 功 展	木頭森林組合
谷 内 浩 治	木頭森林組合
大 宗 町 子	美馬森林組合
大 塚 章 弘	板野郡森林組合
川 村 勝 之	阿波麻植森林組合
檜 本 幹 人	三好東部森林組合

【作業員の部】

(敬称略)

氏名	所属
井 口 雄 水	海部森林組合
宮 崎 久 徳	阿南市森林組合
下 籾 一 郎	木頭森林組合
福 田 里 琉	美馬森林組合
三 浦 留 夫	美馬森林組合
新 居 秀 夫	三好西部森林組合
内 田 達 男	三好西部森林組合
吉 川 弘 志	三好西部森林組合


受賞者の長年の功績に対し深く敬意を表し、心からお祝い申し上げます。

平成26年度 林業用種苗規格一覧

樹種/規格		苗長(cm)	径(mm)	備考	
すぎ	実生2年生	35～65	6		
	実生3年生	3～1号	45～75	9	
		4号	35～45	8	
	実生コンテナ苗	35～65	—		
	さしき2年生	35～85	6.5		
ひのき	実生2年生	35～60	5		
	実生3年生	3～1号	45～70	7	
		4号	35～45	6	
あかまつ	2年生	1～4号	20～50	5	
くろまつ	2年生	1～3号	20～40	6	
くぬぎ	1,2年生	40上	6		

(注)この苗木は、無病健全な苗木であり、苗木の長さは地上部における幹の長さとし、太さは地上部1.5cmの箇所における直径とする。

お問い合わせは、最寄りの森林組合まで!



上記苗木以外にも多数取り扱っております。
お問い合わせは、森林組合又は県森連まで!

各森林組合一覧 <http://www.toku-forest.com/kumiai/shinrin-map.html>

県森連HP <http://www.toku-forest.com/> TEL 088-622-8158

人は生まれながらに 「人」として生きる権利を持っています。



国際連合は、1948年（昭和23年）12月10日に「世界人権宣言」を採択し、その主旨は「すべての人間は、生まれながらにして自由であり尊厳と権利において平等である」という内容でした。

1966年（昭和41年）「国際人権規約」を採択、「人権の国際基準」を示し地域紛争や、人権侵害、難民問題が取り上げられる中で、世界が「人権」についてよく考えるようになりました。

1994年（平成6年）の総会において1995年から2004年までの10年間を「人権教育のための10年間」と決議しました。以後、各国において積極的に取り組むよう要求しています。

これを受けて、我々森林組合を含む全国農林漁業団体では「人権問題啓発推進事業」を開始し、継続してこの運動を展開しています。

「人権」は永遠のテーマです。わたしたちは人権について学び、かつて採択した「世界人権宣言」の主旨を次の世代へ引き継がなければなりません。

**私たちの身近にひそむ差別や偏見、
人権侵害につながる人権課題に対する心構えを常に持ち続けましょう。**

J Forest

**全国森林組合連合会
人権問題普及啓発事業**